

教育再生を 考える

選択のとき

選択制 学校どう変わる

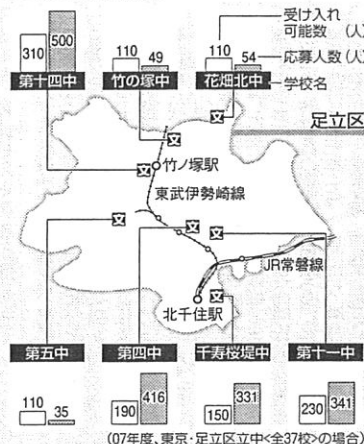
人気校の陰 住宅街に「過疎校」

現状は

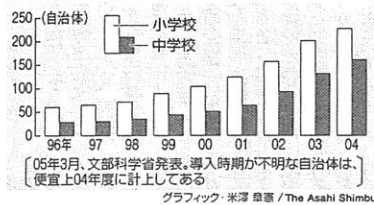
東京都杉並区の主婦 新入生は11人。男の子(39)は昨年、杉並第八小は長てもう1人だけ。街で「過疎校」になるな学校の入学式に出席し、記念写真をとって、「こんなに少ない撮るのも苦しい。」と驚いた。

杉並区は人口約52万

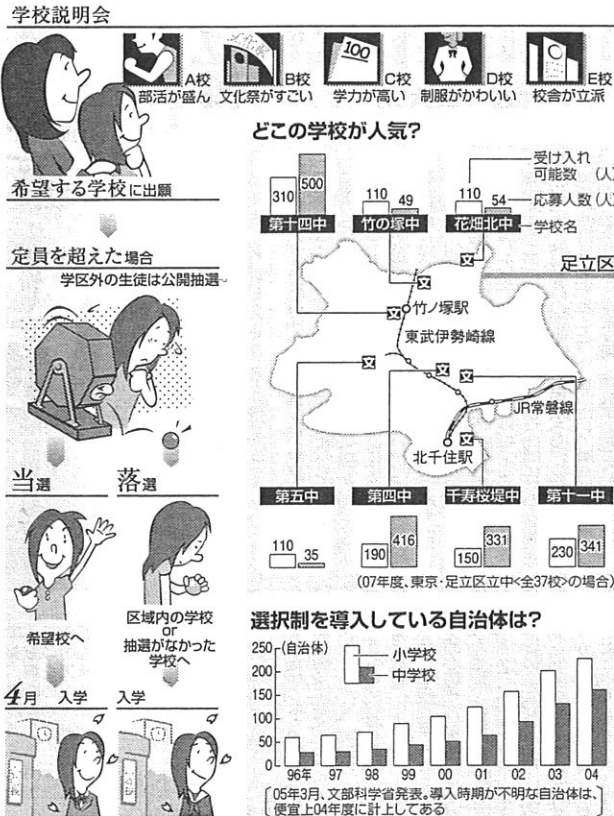
どの学校が人気?



選択制を導入している自治体は?



学校選択の流れ



「序列化する」と慎重な自治体も

心配は

06年から那覇市、08年から富山市が採り入れるなど今後も増える。

では、学校選択制が広がること、どんな影響が出るのだろうか。

学力テストの成績と対応、成績下位の3倍以上の応募があった一方、成績下位の3校は応募が定員の半分以下に落ちた。

ある東京都足立区を例にすると、07年度、東京・足立区立中<全37校>の場合、希望校へ抽選がなかった学校へは、抽選がなかった学校へ抽選がなかった学校へ

かかわる話として、小学校教師は、学業も停止になり、今年から夏休みも1週間短縮。学力対策は、子どもが向いている活動にも影響が出て、28のクラブがある中学校の一方、八つしかない

かかわる話として、小学校教師は、学業も停止になり、今年から夏休みも1週間短縮。学力対策は、子どもが向いている活動にも影響が出て、28のクラブがある中学校の一方、八つしかない

かかわる話として、小学校教師は、学業も停止になり、今年から夏休みも1週間短縮。学力対策は、子どもが向いている活動にも影響が出て、28のクラブがある中学校の一方、八つしかない

成果は

選ばれるために学力底上げ

公立学校の選択制は全国的に広がっている。なせなのか、理由はある。

「もともと人気がある学校」に越境する手が多くなり、親の希望に応えたいという自治体や、「学校の特色づくり」「教員の意識改革のため」といった理由を挙げた自治体もある。「良い意味での競争」は必要だとする教育委員会や「ライバルは隣の公立で、算数73・1%より7%

はなきて、私立という意識の教委も。理由はさまざまだが、学力アップを明確に掲げる自治体もある。品川区は06年に東京都内で初めて選択制を導入した。区教委指導課は「基礎学力が十分でない学校の底上げを図るという狙いがあった」と話す。

選ばれようとする学校が努力した結果、テストの成績が上がったという。区教委の期待点を超えた児童は03年から3年間で、国語73・5%より83・7%、算数73・1%より79

かどうかは慎重に検討中だ。いまは旧・種波町地区だけの選択制だ。専修大学の嶺井正也教授(教育政策学)は「評判が固定化すると、逆転は難しい。地域固有な魅力の子がぶつかり合っ青つ公立の良さが失われてしまうのでは」と心配する。(平岡妙子)

はできるが、6年間の子どもの成長という観点からすると、決して良いとは思えない」と言う。

幼稚園や保育園で説明会を開いたり、保護者たちが未就学児を招いて「ヤリ」を教える会を開催したり、児童集めに取り組んだ。こうした努力が、今年の新入生は31人にまで回復した。富岡校長は

「来年こそ2クラスにしたい」と意気込む。しかし、どこが増えるところか減る、定員を越える応募があり、抽選が必要になり、保護者たちが未就学児を招いて「ヤリ」を教える会を開催したり、児童集めに取り組んだ。こうした努力が、今年の新入生は31人にまで回復した。富岡校長は

「来年こそ2クラスにしたい」と意気込む。しかし、どこが増えるところか減る、定員を越える応募があり、抽選が必要になり、保護者たちが未就学児を招いて「ヤリ」を教える会を開催したり、児童集めに取り組んだ。こうした努力が、今年の新入生は31人にまで回復した。富岡校長は

次週のテーマ (日曜日に掲載します)

注目の道徳。授業はどうなっているのか。規範意識は教室で教えられる?

あしたを考える